



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 滝沢ハム株式会社

コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 滝澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 山口 輝

TEL 0282-23-5640

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,491	△3.3	△32	—	△22	—	△157	—
27年3月期第2四半期	14,993	1.7	146	—	170	—	126	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △115百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 204百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△15.32	—
27年3月期第2四半期	12.31	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	12,521	2,961	23.7	288.37
27年3月期	12,224	3,107	25.4	302.59

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,961百万円 27年3月期 3,107百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	2.5	300	△16.3	310	△26.2	100	△72.6	9.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	10,510,000 株	27年3月期	10,510,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	240,354 株	27年3月期	240,354 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	10,269,646 株	27年3月期2Q	10,269,716 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は、終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円安や原油安の効果により企業収益は改善し緩やかな回復基調となりました。しかしながら、中国経済の減速懸念や世界経済の不透明感により株価の下落もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、食肉相場は前年を上回る水準で推移いたしました。原料価格の高止まりの中、物価上昇や消費税率の引き上げ等の懸念から消費者の防衛意識が高まり低価格指向や節約志向が根強く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、営業部門は、新商品を中心に売上の拡大を図るとともに、新規開拓及び販路の拡大を積極的に行いました。生産部門においては、前期より継続生産ラインの見直しによる製品の歩留り管理の改善や労働時間の短縮及び商品の統廃合等を推進しました。また、食肉部門におきましては、原料価格の高騰に対応するため計画仕入の実施、輸入ブランド肉の仕入強化及び国産牛肉・豚肉の生産者との取組強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、ハム・ソーセージ類の食肉加工品の売上が低調に推移したことや中元ギフトの販売も不振に終わったことから、144億91百万円（前年同期比3.3%減）となり減少いたしました。

損益面につきましては、原料価格の高騰に伴いコスト削減を推進しましたが、売上の減少要因及び原料価格のコスト増加要因を吸収するまでには至りませんでした。この結果、営業損失32百万円（前年同期1億46百万円の営業利益）、経常損失22百万円（前年同期1億70百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益については、厚生年金基金の解散に伴う損失見込み額を特別損失に計上したこともあり1億57百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期1億26百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）計上となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

#### 食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ローストビーフの売上は好調に推移しましたが、ハム・ソーセージの売上が低調に推移したため売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は58億32百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

#### 惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類のリニューアルを行ったことや、惣菜商品の新商品の売上が好調に推移したため、売上高は増加しました。この結果、この部門の売上高は18億81百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

#### 食肉部門

食肉部門につきましては、輸入牛肉及び輸入豚肉はブランド商品の拡販に努めましたが、相場の上昇により販売不振となり売上高は減少いたしました。国産牛肉は新たに事業所を設置し新規開拓を行った結果、売上高は増加しましたが、国産豚肉につきましては、販売競争の激化のため売上は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は67億14百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

#### その他部門

その他部門につきましては、外食部門等の売上高は63百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億97百万円増加し125億21百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ4億43百万円増加し95億59百万円となりました。これは主に買掛金及び長期借入金が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少し29億61百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し17億20百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、1億9百万円(前年同期83.8%減)となりました。これは主に仕入債務の増加はありましたが、税金等調整前四半期純損失の計上及び未払消費税等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、90百万円(前年同期比84.7%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、26百万円(前年同期53百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の減少はありましたが、長期借入れによる収入が多かったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表した業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(追加情報)

当社及び連結子会社の一部が加入している「日本ハム・ソーセージ工業厚生年金基金」は、平成26年2月14日開催の代議員会において特例解散の方針を決議しており、以後、特例解散制度による自主解散に向けた手続きを進めております。

現在、年金記録の整理(同基金が保有する加入者の記録と国の被保険者記録を突合すること)を実施しているところであり、今後、この年金記録整理の進行状況や行政認可の状況等を踏まえ、基金解散の認可申請に必要な事業主及び加入員並びに労働組合の同意取得、代議員会での解散決議、特例措置の申請等を予定しております。

なお、同基金の解散に伴い費用の発生が見込まれますが、同基金から解散に伴う損失金負担額(概算値)が通知され合理的な見積りが可能となったことから、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書の特別損失に厚生年金基金解散損失引当金繰入額126,790千円、四半期連結貸借対照表の固定負債に厚生年金基金解散損失引当金126,790千円を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,907,332	1,952,519
受取手形及び売掛金	2,666,291	2,739,882
有価証券	50,029	50,013
商品及び製品	1,311,335	1,384,786
仕掛品	138,011	121,241
原材料及び貯蔵品	207,817	234,932
繰延税金資産	64,266	64,266
その他	20,584	39,133
貸倒引当金	△6,995	△7,205
流動資産合計	6,358,672	6,579,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,302,278	1,284,575
機械装置及び運搬具(純額)	174,982	184,475
土地	1,803,802	1,802,881
リース資産(純額)	444,674	454,291
その他(純額)	69,283	86,182
有形固定資産合計	3,795,022	3,812,405
無形固定資産	123,983	124,143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,724,925	1,776,179
その他	238,630	239,081
貸倒引当金	△17,082	△9,927
投資その他の資産合計	1,946,474	2,005,334
固定資産合計	5,865,480	5,941,883
資産合計	12,224,152	12,521,454

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,399,160	2,751,419
短期借入金	3,228,836	2,974,472
リース債務	161,718	160,111
未払法人税等	68,924	26,378
賞与引当金	115,271	94,062
役員賞与引当金	6,600	6,560
その他	889,267	745,510
流動負債合計	6,869,778	6,758,512
固定負債		
長期借入金	999,604	1,400,946
リース債務	323,922	335,754
繰延税金負債	243,609	258,682
役員退職慰労引当金	2,823	2,882
環境対策引当金	10,555	2,987
厚生年金基金解散損失引当金	-	126,790
退職給付に係る負債	471,946	479,926
その他	194,374	193,474
固定負債合計	2,246,835	2,801,444
負債合計	9,116,613	9,559,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	685,424	685,424
利益剰余金	841,596	653,445
自己株式	△4,009	△4,009
株主資本合計	2,603,511	2,415,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	529,278	565,627
退職給付に係る調整累計額	△25,251	△19,490
その他の包括利益累計額合計	504,027	546,136
純資産合計	3,107,538	2,961,496
負債純資産合計	12,224,152	12,521,454

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,993,516	14,491,756
売上原価	12,314,054	12,064,955
売上総利益	2,679,461	2,426,800
販売費及び一般管理費	2,532,578	2,459,619
営業利益又は営業損失(△)	146,883	△32,818
営業外収益		
受取利息	55	52
受取配当金	13,284	13,408
受取賃貸料	13,531	13,384
その他	25,730	13,889
営業外収益合計	52,602	40,734
営業外費用		
支払利息	28,981	26,418
その他	-	3,863
営業外費用合計	28,981	30,282
経常利益又は経常損失(△)	170,505	△22,365
特別利益		
固定資産売却益	-	953
投資有価証券売却益	1,244	4,865
損害賠償金収入	813	163
特別利益合計	2,058	5,982
特別損失		
固定資産除却損	1,544	1,256
減損損失	903	1,002
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	126,790
特別損失合計	2,447	129,048
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	170,116	△145,431
法人税、住民税及び事業税	43,698	11,910
法人税等調整額	△0	-
法人税等合計	43,697	11,910
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126,418	△157,342
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	126,418	△157,342

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126,418	△157,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,274	36,348
退職給付に係る調整額	5,144	5,761
その他の包括利益合計	78,418	42,109
四半期包括利益	204,836	△115,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,836	△115,232

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	170,116	△145,431
減価償却費	175,086	185,880
減損損失	903	1,002
引当金の増減額(△は減少)	2,484	91,089
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,204	13,741
受取利息及び受取配当金	△13,340	△13,461
支払利息	28,981	26,418
固定資産除却損	1,544	1,256
固定資産売却損益(△は益)	-	△953
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,244	△4,865
損害賠償金収入	△813	△163
売上債権の増減額(△は増加)	△58,441	△66,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,395	△83,795
仕入債務の増減額(△は減少)	199,385	352,258
未払消費税等の増減額(△は減少)	89,956	△163,457
その他	54,353	△14,642
小計	703,571	178,331
利息及び配当金の受取額	13,340	13,461
損害賠償金の受取額	813	163
利息の支払額	△29,391	△26,576
法人税等の支払額	△11,514	△55,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	676,820	109,462
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,593	△85,089
有形固定資産の売却による収入	-	953
固定資産の除却による支出	-	△713
無形固定資産の取得による支出	△16,956	△10,642
投資有価証券の取得による支出	△2,244	△2,282
投資有価証券の売却による収入	4,689	7,330
貸付けによる支出	△1,550	△1,350
貸付金の回収による収入	1,600	1,315
その他	30	△91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,024	△90,569
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,000	△360,000
長期借入れによる収入	300,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△301,339	△193,022
配当金の支払額	△21	△30,848
その他	△77,333	△89,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,693	26,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	574,102	45,164
現金及び現金同等物の期首残高	991,314	1,675,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,565,417	1,720,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。